

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史
淡河恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶本号の“腹部の最新画像情報 2023”は、本誌へ投稿された論文のほかに、日本腹部放射線学会で優秀演題として推薦された論文も掲載されています。その領域は多岐にわたりますが、著者らが自身で経験された事実をまとめられた大切な症例報告です。熊澤論文では、EOB-MRIの肝細胞相で肝内胆管癌の腫瘍周囲にみられた低信号域の意味について、腫瘍辺縁の病理組織所見から微小門脈侵襲や腫瘍栓、そして侵襲のない周囲門脈の拡張であったと結論づけています。岡部論文では、石灰化を有する食道平滑筋腫の診断のみならず、合併していた食道憩室や逆流性食道炎の成因、さらに石灰化の機序についての考察も興味深い内容です。坂原論文では、診断の難しい小腸 angioectasia を造影 CT での確に診断しており、さらに小腸出血が疑われる症例に対するダイナミック造影 CT のプロトコルの提案は、日常診療にすぐに役に立つ内容です。羽賀論文は、腎皮質壊死の画像所見から本症の病態生理について、シエマを用いて大変分かりやすく解説しています。石黒論文では、短期間で自然退縮した性腺芽腫の画像変化について記載しており、病理組織像との対比による病態の変化についての解釈は極めて興味深い内容です。画像診断は、種々の画像所見に対して病態を念頭に置いての解釈が重要であり、それが類似の疾患における鑑別診断、あるいは確定診断における根拠となり、画像診断学をさらに高いレベルに向上させる原動力になります。ぜひ、読者の皆さんも考察に記載されている画像所見の解釈に関する内容を熟読されてみてはいかがでしょうか。▶本年 3 月 8 日～21 日には、ワールド・ベースボール・クラシックが開催されました。準決勝の日本-メキシコ戦や決勝の日本-アメリカ戦は、誰も予測できない、描くことのできない展開となりました。世界中の人々があらためて野球のおもしろさ、醍醐味、そして異なる能力を持つ選手が力を合わせて闘うことの重要性を知ることができたのではないのでしょうか。いつまでも皆さんの心に残る、語り継がれるスポーツの祭典となりました。そして将来、第二の大谷選手が登場することと思います。

今井 裕

「臨床放射線」第 68 巻 第 5 号

2023 年 5 月 10 日発行（毎月 10 日発行）

定価 2,970 円（本体 2,700 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 44,990 円（本体 40,900 円＋税 10%）

[年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 文京メディカル TEL 03 (3817) 8036

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。